

神戸大学交響楽団

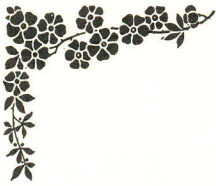
'87 Summer Concert

1987.7.4.(土) 6:30P.M. 開演

神戸文化ホール大ホール



後援：兵庫県
兵庫県オーケストラ協議会
神戸市民文化振興財団
神戸新聞社



プログラム

交響詩「禿山の一夜」

M. ムソルグスキー

(R=コルサコフ編)

指揮 渡部 一郎

組曲「十字軍の兵士 シゲール」

E. グリーグ

指揮 円光寺雅彦

—— 休 憩 ——

交響曲 第4番 変ホ長調
「ロマンティック」

A. ブルックナー

指揮 円光寺雅彦

(第二稿 1878/80 L=ノヴァークによる校訂版)



ご挨拶

神戸大学経営学部教授 谷 武 幸

本日はお忙しいなかをご来場いただきありがとうございます。円光寺雅彦氏を客演指揮者に迎えて、恒例のサマー・コンサートを開く運びとなりました。

本年はムソルグスキーの交響詩「はげ山の一夜」、グリーグの「十字軍の兵士シゲール」、ブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」の3曲に取り組みました。若いエネルギーで練習を積み重ねてまいりましたが、何分にも学生オーケストラですので、神戸大学交響楽団の顧問として、皆様のなお一層の暖かいご支援をお願い致します。

神戸大学響友会会長 千 葉 修 二

戦後の神大オーケストラの歴史は、昭和25年に我々音楽を愛する4人の同志（石原、岡島、円満字、千葉）によって始まりました。楽譜も満足に無く、スコアまで手書きの状態でしたが、我々の情熱をはばむものは何もありませんでした。公開演奏の初演曲目は、『玩具交響曲』……この程度の曲でも、はたして満足な音が出ていたかどうか、今にして思えば誠に心もとない出発でした。なんとかベートーベンを！との願いを達することすら、月世界に行くことと同じぐらい、夢のまた夢でした。

それから38年たった今夜、ブルックナーの大曲を演奏するまでに成長したことが、信じられない気持です。『ロマンチック』は、今年は当たり年のようで、海外からのオーケストラで既に3度も演奏されています。神大オケがどんな音楽を聴かせてくれるか、大変楽しみにしています。予想で物を言うてはいけなと思います。テクニクはともかくとして、恐らく37年前と変わらない情熱のほとばしりを感じさせてくれることは間違いないと期待しています。ご来場の皆様方も共感をもって、この演奏をお聴き頂ければ、誠に幸いです。

(昭和28年旧制卒・指揮者)

